

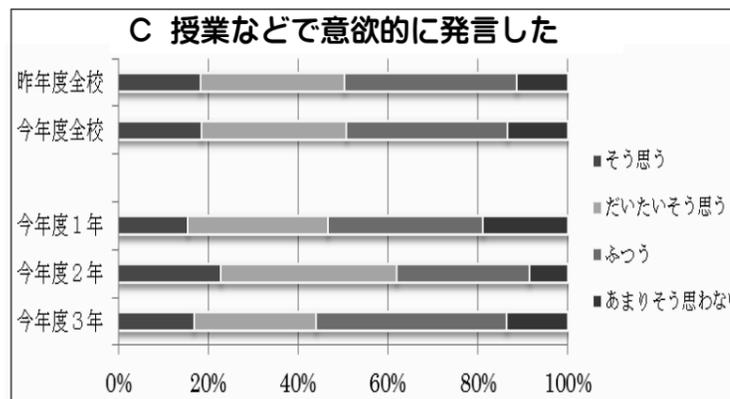
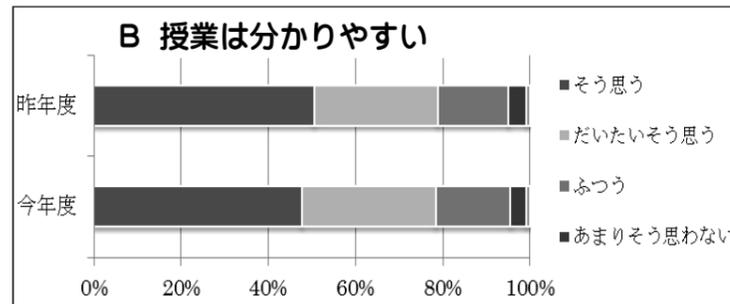
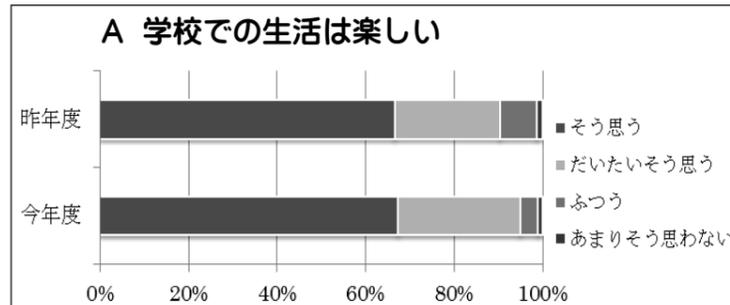
2学期生徒による授業評価より

埴生中学校では、1学期末と2学期末の2回、学校生活と授業の評価を行っています。今回はそのうち3つの項目についてご紹介します。

A『学校での生活は楽しい』の項目は、9割以上の生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」とプラス評価の回答をしています。友達との関係が良く、落ち着いた学校生活を送ることができている生徒が多いことの表れであることが伺われます。しかし割合は少ないですが「あまりそう思わない」と感じている生徒もいます。日頃の生徒同士の関わりや、学校生活の様々な場面での生徒の姿を捉えるなどアンテナを高くし生徒の様子をみていきたいと思えます。

B『授業は分かりやすいか』については、プラス評価の回答をした生徒が、昨年度と同様に約8割います。授業に生徒同士の教え合いの場面を取り入れたり、放課後の質問タイムを設けたりしていることも効果的であったと思われる。今後も常に「分かりやすい授業」を心がけていきたいと思えます。

学校目標の一つである「自分の考えを発信すること」を、いろいろな場面で取り組んできました。授業で考えを発信する場面（発言の様子）を見ると、Cのグラフのように学校全体では昨年度とほぼ同じですが、2年生のプラス評価が高いことが分かります。どの学年でも、さらに発信する力を

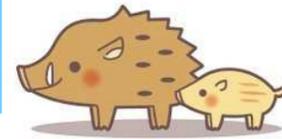


つけていきたいと思えます。学校の評価アンケートは、保護者の皆様にも回答いただき、9割近い皆様にお返事をいただきました。ありがとうございました。その結果の詳細については、後日お知らせする予定です。

生徒の授業に対する意見より

- ペアやグループの活動は、お互いに理解が深まるのでいい。
- たくさんの人と意見を交わす時間があっていい。
- 発言する機会があり、自分の考えがより深まる。
- 授業のはじめに行う小テストが復習にもつながる。
- 発言や話し合いの場を増やしてほしい。
- 進むのが速いから、進むスピードを落としてほしい。
- 授業のはじめに、前回の復習をしてほしい。

等の意見が寄せられました。各教科で記述内容を確認し、今後の授業に活かしてまいります。



2019

お お と り No9

どんな人だって成功できる ~From JOHN LENNON~
校長 丑丸 明英

新しい年 平成31年2019年を迎えました。今年も新春の詩をつくりました。丑丸作です。まだ、新年のお屠蘇気分が抜けきらない詩です。

「若者が 移り住む町 新春の 宴華やぐ 新しき風」

常会の新年会の詩です。我が家の近くは、数年前から田や畑が住宅地になっています。昨年からのうちの近くの田んぼや畑が住宅地になる造成工事が始まっています。今年の新年会も昨年新しく常会の仲間になった方々を含めて、楽しく過ごすことができました。

目次：

校長講話 1
より

3学期の 2
決意

受験生自己実 3
現に挑戦！
(3年生)

来年度の修学 3
旅行の取組よ
り (2年生)

性教育講演会 3
(1年生)

第2回資源物 3
回収の御礼

生徒による 4
授業評価
より

さて、私の2019年の幕開けを皆さんに紹介します。

まず、大晦日の夜から元日にかけて、有明山にある小島のお宮に2年参りに行ってきました。神社では一年の健康と飛躍を願って、お参りしてきました。もちろん、先生方や生徒の皆さんの健康や3年生の受験合格をお願いしてきました。山の上から、小島の夜景もきれいに見えました。

年の初めの恒例行事「元旦マラソン」に出ました。千曲橋の河原から武水別神社まで、約6キロ弱を走りました。今年は、野球部の皆さんも6人参加してくれました。とても寒かったのですが、気持ちよく走り初めができました。

さて、新年の始まりにあたり、こんな言葉を贈りたいと思います。私の大好きなビートルズのジョン・レノンの言葉です。

「どんな人だって成功できる」
ジョン・レノン
“自分にこの言葉を何度も言い聞かせ

ていれば、絶対に成功できるのです。私たちだって他の人たちより優れているわけではありません。才能なんて私にはわかりません。生まれついて備わっているものなのか？後で発見するものなのか？基本的な才能というものは、自分に何か出来ると思えることなのです。「必ず出来る」と信じていることなのです。どんな人だって成功できる。”

さて、三学期がいよいよ今日から始まりました。三年生は、中学校時代最後のまとめ、「自分に必ず何かできる」「どんな人だって成功できる」と言い聞かせて、自分の選んだ進路に向けて、突き進んでください。

二年生は、部活動を引き継ぎ、そして生徒会を引き継ぎ、大熊会長さんを中心とする新生徒会がスタートしました。三学期からは二年生が中心となって学校を動かしていくこととなります。埴生中学校を自分たちが背負ってたつという気迫でがんばっていきましょう。

一年生は、あと46日くらいで「先輩」と呼ばれるようになります。小学校6年生はもうすでに中学校に入学する準備を進めています。新入生から頼りにされる先輩になるためにも、充実した3学期にしていきましょう。

「才能は、自分に何か出来ると思えること」この3学期も、みんなで力を合わせて、すばらしい埴生中学校にしていきましょう。

ホームページもご覧ください！
<http://www.chikuma-gn.ed.jp/~hanyujh/>

千曲市立埴生中学校 学校便り



長野県千曲市桜堂100

電話 026(272)0015
FAX 026(273)2792

文責 教頭 村松 啓司

三学期の決意～始業式の生徒発表より～

(発表原稿より)

【1年 田中 碧乃さん】「部活と勉強を両立させる」

私が三学期に力をつけたいことは、学習と部活動を両立させることです。このように考えた理由は、自分でも学習をする時間が少ないと思ったからです。吹奏楽部では、1月にアンサンブルコンテストがあり、その曲の練習をしないといけないので、それまではあまり勉強をしている時間がありません。二学期のテストでは目標の点数にたどりつくことができなかったので、自分の学習について見直していきたいです。まずは平日の学習時間を増やしていき、自分の苦手だと思う所をしっかり学習していこうと思います。そして、アンサンブルコンテストの曲の練習も頑張りたいです。部活動時間の中で曲の仕上げが難しい時は家に持ち帰り、個人練習をしていきたいです。私はこのことを三学期に頑張りたいと思います。4月には2年生になります。部活動と勉強が両立できるように、三学期は頑張りたいと思います。

【2年 鈴木 渚士さん】「最上級生となるに向けて」

僕はこの三学期に、最上級生となるに向けてしたいこと・しなければならぬことは数えきれないほどありますが、その中でこれは必ずやろうと決めたことが2つあります。一つ目は、大勢の人の前に立って物事をはっきりと伝えられない・言えないということを克服するという事です。今後、僕らの学年が生徒会を背負って立つという中で、意見や疑問点があっても何も言えないで人任せにするということはあってはならないと思ったからです。授業などでも同じです。僕は、自分自身で考えた意見や疑問に自信を持ってないことが多々ありました。ですが、この三学期以降は、積極的にたとえ自信がなくても、自分が考えたことを友だちに、クラスに、学年に、そして全校のみんなに言っていけるようにしていきたいです。二つ目は、両親への感謝です。中学生になり、両親への日々の感謝を忘れ、反抗的な態度をとってしまっていました。もしも両親からの支えがなかったらここにいられることはなく、ここにいる今の自分に両親への感謝を行動として何ができるのかと考えると、お風呂の掃除程度です。なのでこの三学期からは今後ずっと両親への感謝を忘れず、少しでも楽にしてあげ

られるようなことをしていきたいと思います。三学期、僕は主にこの二つのことを実行していきたいと思っています。

【3年 小林 真奈里さん】「三学期の抱負」

私にとって、この三学期は中学校生活最後の学期となります。そして、「受験」という大きな壁が待っています。私にとって受験は、自分の新しい道を切り開く第一歩だと考えます。それは高校受験だけでなく、その先の将来もすべて自分の力で進んでいかなければならないと思うからです。志望高校を自分の意志で選び、志望高校に向かって自分でコツコツと努力してこそ自分の進路は開かれます。家族や先生方、仲間を支えられながらも、最後まで諦めずに自分の力でやっていくからこそ、自分の道を切り開く第一歩が踏み出せると思います。そこで私は、受験に向けての目標を立てました。それは「自分に自信を持つこと」と「何事にも前向きに取り組み頑張ること」です。例えば、受験勉強をする中で「この勉強方法で大丈夫かな？」と思いながら勉強したり、日々の勉強の中で目的を持って取り組んだり、何に対しても自分の行動に責任を持って生活したりして自信を持って受験に臨みたいと思います。また、高校では何事にも前向きに取り組んで頑張れる人が求められると思います。少しでもそんな人に近づけるように、今まで以上に普段の学校生活を大切に、高校でも活躍できるような存在感のある人になっていきたいです。もう一つ、この三学期は中学校三年間のまとめの時期でもあります。中学校生活も残すところあとわずかです。私は最後まで気を引き締めて生活したいです。具体的には、提出物は毎日出す。時間にルーズにならないなどやるべきことは最後までやり通す。悔いが残らないように一日一日を大切に過ごすことです。受験は私にとって大きな壁ですが、その壁を乗り越えるには普段の取り組みが大切だと思います。生活態度がしっかりしたものになれば受験も良い結果につながるし、中学校三年間のまとめとしてふさわしい学期になると強く思います。これまで支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを持って、普段の生活を大切に、悔いの残らない三学期にしたいです。

“受験生”自己実現に挑戦！（3年生）

3年生は、受験モードに突入し日々真剣な授業風景が見られます。すでに私立高校の推薦入試も終わり合格者も数名出てきています。2月に入ると私立高校の一般入試や2月8日には公立高校の前期選抜入試が、3月6日には公立高校の前期選抜入試が控えています。受験生全員が目指す高校に合格できるように今が正念場です。ご家庭でも、栄養・睡眠・規則正しい生活等においてご指導いただき、体調管理には十分ご配慮していただければと思います。よろしくお願ひいたします。



受験モードの3年生(総合テストの様子)

来年度の修学旅行(4/21～4/23実施予定)の取り組みより(2年生)

2年生は、来年の4月に実施される「奈良・京都への修学旅行」に向けて、クラス別行動の計画や公共交通機関での班別行動の計画など盛んに行われています。2日目に予定されている班別行動の計画では、旅行会社の担当の方より説明を聞いたり、パソコン教室で見学場所を検索したり、旅行ガイドブックをみながら見学ルートや昼食の場所をきめるなど各クラス班での話し合いが楽しそうに行われています。生徒からは「班の仲間と見学場所を決めている最中ですが、行ってみたいところがいっぱいあって今からすごく楽しみです。」との感想が聞かれました。



修学旅行の概要を熱心に聞く2年生



性についての話を真剣に聞く1年生

性教育講演会（1年生）

1月24日(木)に1学年は、「性教育講演会」を行いました。講師に篠ノ井総合病院の助産師さん2名をお呼びし、生命の誕生の喜びや助産師として出産に立ち会った時の感動など性教育の根幹について丁寧にお話をいただきました。講演を聞いた生徒たちは、自分が望まれて生まれてきたことや将来自分が健康に過ごせるために、体と心の成長期である中学生の今を大切にしながら心をつくること、異性について理解をし自分も友達も大切に考え生活を送ることを学びました。

“資源物回収の御礼” 保護者・地域の皆様に感謝です。

12月1日(土)に、今年度第2回目のPTA資源回収を実施いたしました。本部役員・各支部長の皆さんを中心にご協力いただき、たくさんの資源を集めることができました。紙面を借りて御礼申し上げます。1・2年生は、地域に出て資源物を集める活動をし、3年生はJA殖生支所で集まってきた資源物を分担に分かれ一生懸命活動してくれました。ありがとうございました。なお、収益は生徒が教育活動において必要とされるものを購入するなどし、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

<収益金の報告>
 第1回資源物回収(H30.5.26)
 収益金 290,650円
 第2回資源物回収(H30.12.1)
 収益金 211,970円
 合計収益金 502,620円